

エレミヤ書#10約束、予言、残された者〔レムナント〕、回復

11/9-15 **OL Summary:** **I.** 神はイスラエルの子たちを選び、

彼らを召会の予表としてのご自身の民としました。**A.** イスラ

エルの子たちは神の選ばれた民として、召会の最も偉大な、団体の予表です。**B.** 私たちがこの予表の中で見ることができなのは、召会が神によって選ばれ贖われて、キリストとその霊を命の供給として享受し、神の住まいを建造して、キリストをその分け前として受け継ぎ、墮落し捕らえられて、回復され、キリストの来臨を待ち望んでいるということです。**II.** エホバは、イスラエルの捕囚の民を帰らせて、

彼らの地に連れ戻すことを約束しました。**A.** 「私はあなた

がたについて、私が考えている考えをよく知っている」と、エホバは告げられる。その考えは、災いのためではなく平安についてであり、あなたがたに後の結果と希望を

与えるものである(エレミヤ29:11)。**B.** 「私は永遠の愛をもってあなたを愛した。それゆえ、私はあなたを、慈愛をもって引き寄せてきた」(31:3)。**C.** 「私は、あなたがたの捕囚の民を帰らせ、あなたがたをすべての諸国民から、あなたがたを追い

やったすべての所から集めると、エホバは告げられる。私はあなたがたを、そこから捕らえ移した元の所に連れ戻す」(29:14)。**D.** 「イスラエルの処女よ、私はあなたを再び建てる。そしてあなたは建てられる。再び、あなたはタンバリンをもって自分を飾り、喜び楽しむ者たちの踊りの中に出て行く」(31:4)。**E.** 「彼らは来て、シオンの高嶺で歌い、エホバの良きものに向かって流れ出る。…彼らの魂は潤った園のようになり、彼らはもはやしぼむことはない」(12)。**F.** 「私は彼らの嘆きを喜びに変え、彼らを慰め、悲しみに代えて歓喜させる」(13)。**III.** エレミヤは、バビロンでのイスラエルの捕囚が七十年間になることを

予言しました。**A.** 七十年についての言葉は、エレミヤにとって慰めとなり、彼の国と民についての、また宮と都についてのみじめな状況がわずか七十年しか続かないという保証を彼に与えました。**B.** 神は民を捕囚に渡したように、彼らを連れ戻します。それは捕囚のようではなく、凱旋の戦士のようにです。**C.** ダニエルは、イスラエルの捕囚の七十年に関するエレミヤ25:11-12と29:10-14の予言を理解していたので、自分の顔を「主なる神に向けて求め、…祈りました」。**IV.** エホバは、ご自身の羊の群れの残された者を、ご自身が追いやった地から集め、彼らの牧場に連れ戻し、彼らが繁殖し増殖すると言いました。**A.** 神は七十年の捕囚の後に、入って来て、イスラエルの子たちを召し、バビロンから聖地に帰らせました:神がご自身の民を召して、ご自身の選ばれた地に戻って来させようとした時、

応答した者はほとんどいませんでした。大多数は捕囚の中にとどまりました/神は、ご自身の民がバビロンでの七十年の捕囚の後に、エルサレムに帰還することを約束しました。エズラ記とネヘミヤ記において、残された者はこの約束にしたがって帰還しました。**B.** 私たちは今日、主の回復の中で、神の民の残された者であって、非常に多くの真の信者たちが散らされて捕囚の中にとどまっている間も、神の当初の意図に戻って来ました:私たちはキリストのからだの肢体であって、一の当初の立場に戻って来

ました。そして、私たちは神の残された者として、ここに立っています。**C.** バビロンからエルサレムへのイスラエルの子たちの帰還は、キリストが来るための道を用意しました:主が一回目に来られることは、神の民がバビロンでの

捕囚から聖地に帰還することにかかっていた/ミカ5:2の予言によれば、キリストはベツレヘムで生まれることになっていました/この予言が成就されるために、神の民は聖地にいなければなりません/帰還した捕囚の残された者は、神によって用いられた手段であって、宮を再建し、キリストが一回目に来ることをもたらしました/残された者の聖地への帰還がなければ、キリストが肉体と成ることを通して、地上に来るための何の道もなかったでしょう/同様に、キリストが二回目に来ることは、ご自身の新約の信者たちの残された者が、バビロンでの捕囚、墮落したキリスト教から、一の唯一の立場に帰還して、神の霊の家である召会を建造することにかかっています/主は、ご自身の民の残された者が、バビロン捕囚から出て来て召会の正当な立場に帰還することによって、ご自身の必要に応じるようにと召しています/主の意図は、キリスト教全体を復興することではなく、ご自身の民の残された者を召すことです。彼らは進んで代価を払って、彼に従って行き、彼の定められた御旨を完成して、からだの一部分として建造されます。**V.** エホバは、イスラエルの子たちに、回復をもたらすと言いました:**A.** エホバは、エルサレムの町に、快復といやしをもたらすことを約束しました。**B.** エホバは、満ちあふれる平安と真実を彼らに示すということと、彼らのご自身に向かって犯したすべての罪科から彼らを清め、彼らのご自身に向かって犯し、ご自身に向かって背いたすべての罪科を赦すということとを言いました。**C.** エホバは、エルサレムがすべての諸国民の前で、ご自身にとって楽しみの名と賛美と栄光となることを、さらに約束しました。**VI.** イスラエルの子たちが捕囚から帰還することは、召会の回復を予表しています。**A.** 私たちが召会の回復について語るときに意味するものは、もともとそこにあったものが失われ、損なわれてしまったので、今、そのものを当初の状態に戻す必要があるということです。**B.** 召会は、何世紀ものその歴史を通して、墮落してしまつたので、神の当初の意図にしたがって回復される必要があります。**C.** イスラエルの子たちが回復されることが意味したのは、彼らがバビロンからエルサレムに連れ戻されるということでした。召会の回復は、バビロンによって表徴される、捕囚の分裂的な立場からの帰還と関係があります。**D.** イスラエルの子たちは、バビロンに持って行かれていた神の宮のすべての器と共に、神の定められた唯一の立場であるエルサレムに戻って来ました:銀と金のこれらの器は、キリストの豊富と、キリストに対する経験のさまざまな面を表徴しています/今日のバビロンは、神の民を捕囚にただけではなく、神の宮からすべての豊富を奪って来ました。主は今、ご自身の忠信な民をバビロンから召し出して、彼らを正常な召会生活に連れ戻したいだけではなく、失われてきたキリストのさまざまな面すべてを回復したいのです。**E.** 召会の回復はまた、エルサレムの神の宮、神の家の再建によって、またエルサレムの都の再建によって予表されています:キリストの拡大の第一段階は、家としての召会であって、集められてキリストの増し加わりとなるべきすべての信者たちから成っています/キリストの拡大の第二段階は、都としての召会です。家としての召会は、拡大して、都としての召会とならなければなりません/この回復は、キリストの再来のための用意を整えること、またその基礎となります。

CP1:毎日、信仰の言葉を聞き、心に不信仰が感染しないように注意して、信仰によって約束の祝福にあずかる

OL1:イスラエルの子たちは神の選ばれた民として、召会の最も偉大な、団体の予表です。私たちがこの予表の中で見ることができるのは、召会が神によって選ばれ贖われて、キリストとその霊を命の供給として享受し、神の住まいを建造して、キリストをその分け前として受け継ぎ、墮落し捕らえられて、回復され、キリストの来臨を待ち望んでいるということです。1コリント 10:1 私たちの父祖たちはみな雲の下にあり、みな海を通り、2 みな…バプテスマされました。3 そして、みな同じ霊の食物を食べ。10 また彼らのある者がつぶやいて、滅ぼす者によって滅ぼされたように、つぶやいてはいけません。11 さて、これらの事柄が彼らに起こったのは、一種の予表としてであって、…私たちへの警告のために、書き記されたのです。

OL2:エホバは、イスラエルの捕囚の民を帰らせて、彼らの地に連れ戻すことを約束しました。エレミヤ 29:14 私は、あなたがたの捕囚の民を帰らせ、あなたがたを…集めると、エホバは告げられる。私はあなたがたを、そこから捕らえ移した元の所に連れ戻す。

30:17 まことに、私があなたを快復し、あなたの打ち傷をいやすからだとエホバは告げられる。なぜなら、人々はあなたを捨てられた者と呼び、だれも捜し求めないのはシオンだと言ったからである。18 エホバはこう言われる、「見よ、私はヤコブの天幕の捕囚の民を帰らせ、彼の住まいに深く同情する。町はその壘の上に建て直され、宮殿にはかつてのように人が住む。19 彼らの中から感謝と、喜び楽しむ者の声が出て来る。私は彼らを増やして、減らないようにし、彼らを尊ばれるようにして、卑しめられないようにする。

31:3 私は永遠の愛をもってあなたを愛した。それゆえ、私はあなたを、慈愛をもって引き寄せてきた。4 イスラエルの処女よ、私はあなたを再び建てる。そしてあなたは建てられる。再び、あなたはタンバリンをもって自分を飾り、喜び楽しむ者たちの踊りの中に出て行く。7 まことに、エホバはこう言われる、「ヤコブのために喜びの叫び声を鳴り響かせ、諸国民のかしらに叫び声を上げよ。告げ知らせ、賛美して言え、『エホバよ、あなたの民を、イスラエルの残された者[レムナント]を救ってください。』11 まことに、エホバはヤコブを買い戻し、…彼を贖われたからである。12 彼らは来て、シオンの高嶺で歌い、エホバの良きものに向かって流れ出る。すなわち穀物に、新しいぶどう酒に、新鮮な油に、羊と牛の群れの子に流れ出る。彼らの魂は潤った園のようになり、彼らのもはやしぼむことはない。13 私は彼らの嘆きを喜びに変え、彼らを慰め、悲しみに代えて歓喜させる。

適用: 新人及び青少年・大学生編

私たち地方召会が、神の約束に従った主の回復であることを認識してください。イスラエルの民は今日の召会の予表です。従って、イスラエルの墮落の歴史は、新約の信者に対する警告であり、イスラエルに対する祝福、あなたに対する祝福です。あなたは上記のエレミヤ29～31章と下記のヘブル書の御言葉を読み、よくよく祈りの中で考慮してください。

ヘブル2:1 こういうわけで、私たちは聞いてきた事柄にもっと注意を払うべきです。そうでないと、押し流され

てしまいます。3 私たちがこんなに偉大な救いをなおざりにするなら、どうして逃れることができるでしょうか? 3:12 兄弟たちよ、あなたがたのうちのだれも、不信仰という邪悪な心を持って、生ける神から落ちていくことがないように気をつけなさい。

4:2 というのは、彼らに宣べ伝えられたと同じように、私たちにも福音が宣べ伝えられているからです。ところが、その聞いた言は、彼らにとって益となりませんでした。それが聞いた者たちの中で、信仰と混ざり合わされなかったからです。

新人や若者の皆さんは、「こんなに偉大な救い」から落ちていかないように、毎日、注意してください。コロナウイルスやインフルエンザに感染しないようにマスクをしたり、フィジカル・ディスタンスを保ったり、部屋の空気を換気したりします。同様に、不信仰な邪悪な心は、外側のこの世や内側の肉の欲望から来ます。毎日、信仰の言葉を聞き、心に不信仰が感染しないように注意してください。御言葉は、あなたが神の子供たちをエルサレムの一の立場に戻し、「魂は潤った園のようになり、…もはやしぼむことはない。エホバが…嘆きを喜びに変え、慰め、悲しみに代えて歓喜させる」(エレミヤ 31:12～13)と約束しておられます。あなたの約束は変わり得ますが、神はご自身の約束に対して信実です。神の約束は変わりません。不信仰とは、サタンに影響されたあなたの考えを義とし、神の約束を不義とすることですので、確かに邪悪な心です。

例えば、ある人は、「信仰を捨てれば出世させることができるが、そうでないなら出世させられない」と上司に言われました(これは実話です)。それでは、信仰はあなたを祝福するのでしょうか? それとも、呪うのでしょうか? あなたはこれと同じ経験を持たないかもしれませんが、類似した経験はあると思います。あなたは主に信頼して、信仰と勇気をもって、一歩踏み出してください。兄弟の証し: 私は大学院修士課程を卒業後、全時間奉仕者になりました。その当時、新卒でないと就職ができない(中途採用はほとんどない)時代でしたので、父親や家族たちは、大変失望しました。すべてを捨てて主に従う時、「経済的に貧しくなること」と「結婚できなくなることを」恐れていました。しかし、勇気を振り絞って踏み出しました。今、私は、「全時間訓練と全時間奉仕は、役に立たない人である私を、役に立つ人に変えることができた」と証しすることができます。主に従って捧げたことで、姉妹と結婚することもでき、世界的な大企業のVice Presidentになることもできました。目先のことだけを見て恐れて、不信仰になりかけていましたが、主の憐れみを受けて、勇気を振り絞ることができました。その結果、私の期待をはるかに超えて、主は与えてくださいました。主に感謝します!

祈り: 「おお主イエスよ、こんなに偉大な救いから落ちることがないように、イスラエルの墮落の歴史から学びます。嘆きを喜びに変え、慰め、悲しみに代えて歓喜させるという神の約束に信頼します。あなたの言葉は信実です。サタンに影響されて不信仰に陥ることから救ってください。霊を活用して御言葉を祈り読みし、信仰と混ぜ合わせ、どんな時にも勇気をもって大胆に主を証しすることができますように。アーメン!」

CP2: 召会建造は宇宙で最高の事業である。進んで代価を払って神を人に分与し、神のエコノミーを実行する

エレミヤ23:3-4 しかし、私は私の羊の群れの残された者[レムナント]を、私が追いやったすべての地から集め、彼らの牧場に連れ戻す。彼らは繁殖し増殖する。そこで、私は彼らの上に牧者たちを起こして彼らを牧養させる。彼らはもはや恐れることはなくおののくことはなく、また失われることもないと、エホバは告げられる。

エレミヤ25:11-12 この地全体は荒れ果て、荒廃して、これらの諸国民は七十年、バビロンの王に仕える。エホバは告げられる、こうして七十年が満ちた後、私はバビロンの王とその民を、またカルデア人の地を、彼らの罪科のゆえに罰して、それを永遠の廃虚とする。

OL1: エレミヤは、バビロンでのイスラエルの捕囚が七十年間になることを予言しました。七十年についての言葉は、エレミヤにとって慰めとなり、彼の国と民についての、また宮と都についてのみじめな状況がわずか七十年しか続かないという保証を彼に与えました。神は民を捕囚に渡したように、彼らを連れ戻します。それは捕囚のようにではなく、凱旋の戦士のようにです。ダニエルは、イスラエルの捕囚の七十年に関するエレミヤの予言を理解していたので、自分の顔を「主なる神に向けて求め、…祈り」しました。

OL2: 神は七十年の捕囚の後、入って来て、イスラエルの子たちを召し、バビロンから聖地に帰らせました。神がご自身の民を召して、ご自身の選ばれた地に戻って来させようとした時、応答した者はほとんどいませんでした。大多数は捕囚の中にとどまりました。

OL3: 私たちは今日、主の回復の中で、神の民の残された者であって、非常に多くの真の信者たちが散らされて捕囚の中にとどまっている間も、神の当初の意図に戻って来ました。私たちはキリストのからだの肢体であって、一の当初の立場に戻って来ました。そして、私たちは神の残された者として、ここに立っています。

OL4: バビロンからエルサレムへのイスラエルの子たちの帰還は、キリストが来るための道を用意しました: 主が一回目に来られることは、神の民がバビロンでの捕囚から聖地に帰還することにかかっていた。ミカ5:2の予言によれば、キリストはベツレヘムで生まれることになっていました。この予言が成就されるために、神の民は聖地にいなければなりません。帰還した捕囚の残された者は、神によって用いられた手段であって、宮を再建し、キリストが一回目に来ることをもたらしました。残された者の聖地への帰還がなければ、キリストが肉体と成ることを通して、地上に来るための何の道もなかったでしょう。同様に、キリストが二回目に来ることは、ご自身の新約の信者たちの残された者が、バビロンでの捕囚、墮落したキリスト教から、一の唯一の立場に帰還して、神の霊の家である召会を建造することにかかっています。

OL5: 主は、ご自身の民の残された者が、バビロン捕囚から出て来て召会の正当な立場に帰還することによって、ご自身の必要に応じるようにと召しています。主の意図は、キリスト教全体を復興することではなく、ご自身の民の残された者を召すことです。彼らは進んで代価を払って、彼に従って行き、彼の定められた御旨を完成して、からだの一部として建造されます。

適用: ビジネスパーソン・大学院生編

ダニエルは、イスラエルの捕囚の七十年に関するエレミヤの予言を理解していたので、自分の顔を「主なる神に向けて求め、…祈り」しました。最も尊い祈り、価値のある祈りは、ダニエルのように神の御心を祈ることです。ダニエルの祈りは、宮の破壊と捕囚の時代からエルサレムへの帰還と宮の再建の時代に変換させました。

ビジネスパーソンや研究者は、人々に役立つ仕事をしたいと言う考えがあるはず。新しい技術やサービスを提供して人々の生活の質(Quality of life, QOL)の改善に役立てることができて、収入を得ることができれば素晴らしいという考えを、あなたは持っているはず。しかし、良く考えてみてください。神の御心を実行することは、このような考えよりも更に優れています。それだけでなく、神の御心の中心は人です。もちろん人のためになります。更に人を誘惑し、墮落させるサタンに対抗して立ち上がり、サタンを対処します。御心を実行することは、神と神の敵サタンと被造物の中心である人に正しく対応します。

あなたの職業が人々の「QOLの改善」に役立てることができるなら、それは素晴らしいことですが、ここで言う「QOLの改善」は部分的な改善で、本質的なものではありません。神のエコノミーと神の分与がなければ、根本的な「生活の質の改善」はありません。なぜなら、人は神を入れる器であり、神の分与を受け入れなければ、人の真の満足はないからです。

あなたの人生で、今ここに、宇宙で最高の事業である神のエコノミー、すなわち、召会を建造し、主の2回目の来ることの事業に携わるチャンスがあります。世の中で人の役に立つ人になりたい人は、さらに高く、優れた目標である神の永遠のエコノミーを知り、その価値を考慮してください。そして、神の永遠のエコノミーであるキリストと召会にあなたの全生涯を捧げてください。あなたはビジネスパーソンまた研究者として、人に役立つ仕事また研究に関わり、誇りを持ちたいと思っているでしょう。神のエコノミーに関わることは、それよりはるかに高い意義のあることです。あなたが自分のビジネスや研究に加えて、召会建造に時間を捧げることによって、神の事業に携わることができます。**マタイ 13:45** また、天の王国は、良い真珠を捜している商人のようなものである。**46** 非常に高価な一つの真珠を見つけると、彼は行って、持っているものをすべて売り払い、それを買った。FN「商人」: 商人はキリストです。彼は彼の王国のために召会を捜していました。**16:18** と **18:17** でそれを見つけると、彼は十字架に行って、持っているものすべてを売り払い、王国のためにそれを買われました。FN「真珠」: 真珠は、サタンによって墮落したこの世を象徴する海から出て来るものなので、召会のことを言っているに違いありません。それはおもに、異邦人世界からの再生された信者で構成されており、非常に高価なものです。**祈り**: 「おお主イエスよ、私は仕事や研究を通して、人々のQOLの向上にあずかりたいと思いますが、神のエコノミーにあずかることはそれをはるかに超えた価値があります。なぜなら人は神を入れる器であり、神がなければ人の真の満足はないからです。福音や牧養は神と人を満足させる尊い事業です。さらに神の事業は、人を誘惑し墮落させるサタンを対処することを含みます。この栄光ある事業に自分を捧げます。アーメン!」

**CP3: 分裂のバビロンから一のエルサレムに戻り、からだ
の中で全員が成長し、機能して主の再来をもたらす**

エズラ 1:3 あなたがたのうち、すべて彼の民はだれでも、…その者はユダにあるエルサレムに上って行き、エホバ・イスラエルの神の家を建てるようにせよ。彼はエルサレムにおられる神である。**11** 金と銀の器は全部で五千四百であった。セシバザルは、バビロンからエルサレムに連れられ上った捕囚の者たちと共に、これらの物をみな携え上った。**OL1:**イスラエルの子たちが捕囚から帰還することは、召会の回復を予表しています。**OL2:**宮、すなわち、神の臨在の場所は保護を必要としました。都の城壁は宮の防衛でした。**OL3:**キリストの拡大の第一段階は、家としての召会であって、集められてキリストの増し加わりとなるべきすべての信者たちから成っています。キリストの拡大の第二段階は、都としての召会です。家としての召会は、拡大して、都としての召会とならなければなりません。この回復は、キリストの再来のための用意を整えること、またその基礎となります。

霊的に言って、召会は、その墮落のゆえに、捕囚となりました。神の民は分裂し、散らされ、合一の正当な立場から間違った立場に連れ去られました。…とても実際的な意味で、信者たちは今日イスラエルの子たち以上に散らされています。…エルサレムは、主が選ばれた場所でした。ですから、エルサレムは、神の民が神を礼拝するための中心であり、この唯一の中心は神の民の合一を保ちました。そのような中心がなければ、イスラエルの子たちは良き地に入った後、分裂したでしょう。神はこの問題を予見して、彼の選びの場所に関して戒めを何度も繰り返されました。…神の選択が彼の民の集まりの中心となりました。これが唯一の合一の立場です。こういうわけで、旧約の神の民は、神によって定められた唯一の立場であるエルサレムに連れ戻される必要がありました。

バビロンからエルサレムに戻って来た人たちは、バビロンに奪い取られていた神の宮のすべての器を持ち帰りました。銀や金でできたこれらの器は、キリストの経験とキリストの豊富を表徴します。…今日でさえ、ある親愛なるクリスチャンはキリストに対する真の経験を持っていても、バビロンにいます。…経験は正しいのですが、場所が間違っています。なぜなら器は正しいのですが、偶像の宮における神の宮の器であるからです。銀や金の器はすべてエルサレムに戻されなければならないのです。

私たちは新約の家と都の関係を理解するために、召会がキリストの拡大、またキリストの増し加わりであることを認識する必要があります。すべての信者はキリストの一部、またキリストの肢体です。このすべての部分を集めたものが、キリストの増し加わりです。ですから、召会はキリストの豊満です。なぜなら、キリストは増し加わって、非常に多くの肢体の中へと拡大したからです。…最終的に、召会全体は都となります。宮が都となったので、啓示録 21:22 は、新エルサレムの都には宮がないと告げています。都は幕屋、住まいです。ですから、都は極みまでの宮の拡大、家の発展です。

家と都を建造することは、神の永遠の定められた御旨の中心です。この建造は、実は神と人のミングリングです。…このミングリングが最大限に拡大され、究極的に完成に至るとき、それは都です。

適用: 奉仕者編

召会の奉仕者であるあなたは、主の回復の目的が主の再来をもたらす、キリストの王国をもたらすためであることを認識してください。

啓示録 11:15 すると天に大声があつて言った、「世の王国は、私たちの主と彼のキリストの王国となった。彼は永遠にわたって王として支配される」。

FN「世の王国」:キリストが再来して、諸国民を裁かれた後、この世の王国はキリストの王国となります。

FN「永遠にわたって支配される」:主が永遠にわたって王として支配されるのは、主が千年王国と新天新地において、永遠にわたって支配されることです。

主の回復の中の召会生活と奉仕は、キリスト教のそれとは大いに異なります。地方召会の生活と奉仕の際立った特徴は、以下の3点です。

①神の子供たちの中の一を回復する:バビロンは分裂の立場であり、エルサレムは合一の立場です。バビロンからエルサレムへの帰還の霊的意義は、神の子供たちが分裂の立場から一の立場に回復されることです。召会の責任者たちは、務めの働きによる、年に7回の国際的祭りの集会(July Bible training, December Bible Training, 2回の Training for Elders/Responsible Ones, International Chinese Speaking Conference, Memorial Day Conference, Thanks Giving Day Conference)の現在の主の語り掛けを聞き、主の導きに従って、主を享受し、福音を宣べ伝えてください。務めの働きの下で、責任者たちは建造のために機能する必要があります。

そして、奉仕者たちは責任者の導きと一になって、からだの奉仕を実行してください。決して自分の個人の負担に従ってではなく、からだの負担に従って奉仕してください。そうでないと、あなたの奉仕は、バビロンの立場での奉仕になってしまいます。そのような奉仕は、神の目から見て何の価値もありません。

あなたはからだの奉仕をするために、自分の意見を十字架につける必要があります。リー兄弟は、1986~1988の Full Time Training Taipei (FTTT) で務めの導きに意見がないこと (No opinion) の重要性を交わって下さいました。リー兄弟は二一兄弟の務めの下にいた時、主の務めが二一兄弟の身の上にあることを認識して、全く意見を言わず、二一兄弟を通して主が語られることに完全に従いました。あなたはからだの秩序の中で、熱心にその霊の一、からだの一を保持するために、意見を十字架につけて、責任者の兄弟たちに従ってください。一を保持する中で、

②全員がからだの生活の中で共に享受し成長すること、

③全員がからだの組み合わせの中で機能することに注意して奉仕してください。決して他の人の代わりに奉仕するのではなく、他の人を成就して彼らが奉仕できるようにしてください。これがからだを建造する奉仕です。

祈り:

「主の再来をもたらす、神の王国をもたらすための地方召会の生活と奉仕の特徴は、**①神の子供たちの中の一を回復すること、②全員がからだの生活の中で共に享受し成長すること、③全員がからだの組み合わせの中で機能すること**です。からだの奉仕をするために、私は自分の意見を十字架につける必要があります。主よ、私の内側の各部分をくまなく照らしてください。罪、自己、意見を対処して、務めと責任者の導きに従った奉仕を学びます」。